



Philippines フィリピン

キーワードは「関係」

今回の旅を通して私たちはフィリピンに注がれる神様の恵みを見、また私たち自身が多くの神様の恵みを頂きました。まさに今回のチームのテーマとして掲げた御言葉の通りでした。

●テーマ御言葉／「蒔く人に食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも蒔く種を備え、それを増やし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいませ。(IIコリント 9:10)」多くの方々の尊いご支援とお祈りによって支えられた旅であったことを覚え、はじめに心より感謝申し上げます。今回の旅のキーワードは「関係」でした。

人と人との関係

今回数多くの奉仕や交わりの機会を頂きましたが、その一つ一つで私たちは心からフィリピンの人たちとの交わりを楽しむことができました。フィリピンの人たちはいつでもどこでも楽しめます。礼拝とパーティーの境目が良く分かりません(笑)。私たちも一緒になって大盛り上がりで笑って、賛美して、食べて、楽しむことができました。1週間分の笑いを1日で使い果たす生活を1週間連続して続けた印象です。

日本とフィリピンとの関係

今回私たちを受け入れて下さった菅原宣教師の牧する「フィリピン日本人教会」では、日本人は勿論、日本人のご主人をもつフィリピン人女性の方や、日本に重荷のあるフィリピン人の方々が集っています。その方々の日本に対する愛と祈りに感動を覚えました。私たちがフィリピンに行って祈っていただいたこと数知れず。また戦争時代の苦い歴史にも関わらず、私たちを心から歓迎して温かく迎えて下さいました。私たちは皆、フィリピンという国を大好きになりました。今後もフィリピンのために祈り続けます。

神と人との関係

今回の旅で最も印象的だったのは貧しい地区でのミニストーリーです。フィーディングミニストーリーで出会った子供たちの笑顔は忘れられませんし、そのような貧しい地区でスモールグループが増え広がる事実を知って、「貧しいものは幸いです。神の国はあなたがたのものだから。」<ルカ 6:20>の御言葉のこの地上での体現を見ました。CCTというクリスチャン企業がそれらの働きを担っており、「魚を与えるだけでなく、魚の取り方を教える」として、貧しい地区に住む人たちに聖書を教え、また自立支援をしています。その素晴らしい活動の数々を見て、私はフィリピンの貧しい人々に届く神様の愛の手を見た気がしました。

●テーマ御言葉には続きがあります。

「あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。(IIコリント 9:11)」

私たちは各々、この旅で様々なことを感じ、経験し、学びました。この旅の期間中に私たちが行ったことは小さなことかもしれませんが、今回の経験を生かして益々人に良いものを流す器へと成長し、私たちを通して人々が神様に感謝をささげるようになるその事実を知って、神様に感謝をささげます。

滝沢真一記



日本からの学用品を配布する学生達



1000人規模のクリスマス特別礼拝で奉仕する学生達



フィリピン日本人教会のクリスマスパーティーの様子



CCTの自立支援活動の様子



現地の子供達との交わりの様子